

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 しらかば保育園/しらかば保育園分園

発効：平成22年9月30日（平成25年9月29日まで有効）

社団法人神奈川県社会福祉士会

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

別がナ	シャカイフクシホウジンセイシンカイ シラカバホイクエン/シラカバホイクエンブンエン
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人誠心会 しらかば保育園/しらかば保育園分園
事業所住所 最寄駅	〒239-0806 横須賀市池田町1丁目22番12号 京浜急行線 新大津駅下車 徒歩12分
事業所電話番号	046-834-0690
事業所FAX番号	046-834-1706
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 浜田 和幸
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人誠心会 法人代表者氏名 理事長 濱田 徹
URL	http://www15.ocn.ne.jp/~siraho45/
e-mail	kousei-73@basil.ocn.ne.jp
問合せ対応時間	平日8:30~17:00

事業所の概要1

開設年月日	昭和45年4月1日
定員数	114名 (本園85名、分園29名)
都市計画法上の用途地域	市街化区域
建物構造	本園：鉄筋コンクリート造り一部2階建 軽量鉄骨亜鉛メッキ鋼板2階建 分園：木造1階建1棟
面積	敷地面積 (本園1174.01㎡、分園479.91㎡) 延床面積 (本園399.15㎡、分園81.15㎡)

事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	39名	平成22年4月1日現在
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (常勤：1名) 保育士 (常勤：20名、非常勤：9名) 栄養士 (常勤：2名) ※1名は管理栄養士 事務員等 (常勤：1名、非常勤：1名) 調理員等 (常勤：0名、非常勤：5名)	

事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後8週～小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考：
休日保育の実施	無	備考：
一時保育の実施	無	備考：
障害児保育の実施	有	備考：
病後児保育の実施	無	備考：

保育の方針

みんないっしょの保育

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

優れている点・独自に取り組んでいる点：

<本園/分園共通>

- 昭和45年の園開設時より、「みんないっしょの保育」の理念を掲げ、健常児と障害のある子どもをいっしょに保育することで、差別や偏見をなくし、思いやりの気持ちを育む統合保育を実践している。
- 朝夕の遊びや延長保育の中で、異年齢の子どもと関わることができるよう合同保育を行っている。異年齢の関わりの中で、思いやりの気持ちを育むようにしている。
- 年長児を対象に、年2回、泊まり保育を行っている。泊まり保育では、基本的な生活習慣の見直しをするとともに、自立心を高めること、集団への適応能力をのばしながら交友関係を深めることなど、園生活の楽しい思い出作りをしている。
- 各クラス日替わりの日直当番を決め、朝の集まりで自己紹介を行ったり、昼食時に号令を掛けたりしている。周りの子どもたちも、それに応えている。当番の子どもは襷を掛け、一日の役割を担っている。
- 忍者服を使用し、一本歯の高下駄をはいて忍者遊びをすることで、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促す取り組みを行っている。
- 体育教室専任の保育士を配置し、週1回、マットや跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボール、平均台など、子どもたちの年齢に合った運動を行い、身体を動かす楽しさを味わえる取り組みを行っている。
- 毎日の朝の集まりの中で、天突き体操、ラジオ体操、歩け歩きの運動を行い、幼児期の心身の健康づくりを行っている。天気が良ければ自然を求めて積極的に園外保育を実施し、地域の方と交流している。
- 栄養士を2名配置し、給食やおやつは安全性にこだわった手作りを心掛けている。アレルギー食や体調不良児への個別食、離乳食などにも細かな気配りをしている。
- クラス名になっている「なめこ、らっきょう、うめぼし、むぎめし」を食事に取り入れている。給食は「麦ご飯」を基本とし、子どもたちが栽培した野菜類も使用している。
- 毎月最終金曜日を「弁当日」とし、給食を弁当箱に詰めて提供している。子どもたちは家から水筒とレジャーシートを持参し、近くの公園や屋上など、各クラスが思い思いの場所で食事をして、普段とは違った雰囲気を楽しんでいる。
- 幼児クラスの月1回の「働く日」では、子どもたちが保育室のロッカーや床、廊下、下駄箱などの掃除をして、仕事の責任と働く喜びの習慣化をはかっている。
- 幼児クラスでは、専任の講師を招き、週1回「図工教室」を行っている。年齢に合わせた色の塗り方、絵の具の使い方、はさみ、のりなどの使い方の指導を受け、クラス全員の共同作品にも取り組んでいる。
- 伝承遊びや竹馬、コマ、なわとび、お手玉、あやとり、ヨーヨーなど、古くから伝えられている遊びを取り入れて、豊かな情緒を育み、指先の感覚を養う取り組みを行っている。
- 保護者や卒園児のニーズに応じて、園の建物を学童保育に提供している。学童クラブには、卒園児を中心に地域の児童が通っており、園児と交流している。

<分園>

- 本園から200メートルほど離れた平屋作りの分園では、2歳児のみの保育を行っている。子どもたちは、基準の1.5倍の職員配置の下、2歳児のみの落ち着いた環境の中で過ごしている。
- 幼児クラスの進級に向け、持ち物の仕度や歯磨き、トイレトレーニング、箸の使用など、個性に配慮しながら、カリキュラムを組み立てている。
- 日直当番の活動は、2歳児から行っている。襷を掛けた当番の子どもが、保育士と一緒に皆の前に立ち、挨拶や号令を掛け、周りの子どもたちがそれに応えている。
- 分園には、壁づたいや縄梯子などが整備され、本園の子どもたちが忍者遊びで訪れたり、また、行事の際には2歳児が本園に行き、異年齢との交流を図っている。
- 子どもたちが園庭を使用していない時間帯は、地域の子育て中の親子が園庭を自由に使用できるように配慮している。

改善を要する点：

- 地域の子育て家庭への具体的な支援については、計画的、継続的な実施と記録の整備が、今後の取り組みの課題である。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<p>○園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、「しらかば保育園保育指針」に接遇の基本を明文化し、職員会議の場で、園長より日々の事例を通して話をし、共通認識をもって保育に取り組んでいる。</p> <p>○個人情報の保護、守秘義務については、「しらかば保育園運営規則」に明文化し、個人情報や肖像権、写真の取り扱いに注意している。写真などの使用については、保護者の同意を得るようにしている。</p> <p>○実習生やボランティア、見学者の受入れにあたっては、受入れマニュアルを整備し、守秘義務について説明するなどして、徹底をはかっている。</p>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>○家庭との連絡・情報交換は、「しらかば保育園保育指針」で手段・方法等を定め、乳児は「連絡帳」、幼児は「シール帳」で行っている。各クラスにある「連絡ノート」やホワイトボードに、その日の子どもたちの状態や一日の保育内容を書き込み、登降園時に保護者が確認できるようにしている。</p> <p>○クラス懇談会は今年度より年2回(4月、11月)に増やし、保護者の意見・意向を多く把握できるようにしている。個人面談は、定期及び必要に応じて行っている。保護者会の総会では、保護者からの園への要望に対して、Q&A形式で具体的に回答している。</p> <p>○家庭からの希望や意向を把握できるよう、「意見受付マニュアル」を定め、全職員に周知し対応している。玄関横に「意見箱」を設置している。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>○苦情への対応は、マニュアルや様式を定め、苦情受付担当者及び苦情解決責任者、第三者委員の設置を園内に掲示し、また、ホームページにも載せて、取り組みの内容を保護者に知らせている。</p> <p>○消毒薬や洗剤などの危険物は、「危険物管理チェック表」にチェックをすることで、安全な取り扱いや管理を行っている。</p> <p>○園児が触れるおもちゃ、タオル、布団、砂場などの物品の除菌・消毒、遊具の安全点検については、マニュアルに管理方法を定め、点検実行記録をつけて、衛生面・安全面の管理を行っている。</p> <p>○新型インフルエンザの発生に関しては、各クラスの罹患数を、外の掲示板や各クラスのドアに掲示し、保護者に周知を図り、また、「クラスだより」などで家庭への連絡を行っている。</p> <p>○防火・防災・防犯対策については、「しらかば保育園消防計画」を作成し、毎月1回、定期的に防災訓練を実施している。</p>
4	地域との交流・連携	<p>○散歩や園外保育を積極的に行い、子どもたちが地域の方と触れ合う機会を多くもつことができるようにしている。同法人の生活介護事業所とも交流している。近隣の特別養護老人ホームを訪れ、お年寄りとの交流も定期的に行っている。</p> <p>○地域の子ども会の打ち合わせなどに、園の施設を開放している。また、運動会などの園の行事に地域の学童の参加を呼び掛けている。</p> <p>○本園、分園とも、学童保育を行っている。卒園児が多く参加し、放課後の時間を過ごしている。</p> <p>○特に配慮を要する子どもについては、地域の小学校1年担当の先生と情報交換を行っている。</p>

<p>5</p>	<p>運営上の透明性の確保と継続性</p>	<p>○「保育士のための自己評価チェックリスト」を職員全員に配布し、グループに分かれて話し合いを行い、提供する保育サービスの自己評価を行っている。自己評価の結果から、意見箱を設置したり、子どもに対しての呼び方を改善したりした。</p> <p>○保育園の理念や方針について、地域からの理解が得られるよう、園の門に保育理念を掲示している。また、ホームページに園の情報を掲載し、様子が広く伝わるようにしている。</p> <p>○保護者に保育園での子どもたちの様子を見てもらう機会として、保育参観週間を設け、お知らせや「クラスだより」、口頭で保護者に伝えている。運動会や親子遠足は、保護者会と共催で行い、家族が自由に参加している。</p>
<p>6</p>	<p>職員の資質向上促進</p>	<p>○「しらかば保育園保育指針」に、みんないっしょの保育理念と保育方針を明記し、職員会議などで、園長より職員に内容の周知を図っている。</p> <p>○「職員研修割り振り、年間研修計画書」を作成し、年間の外部研修、内部研修を計画的に行っている。近隣4園との合同研修も行っている。職員会議で外部研修の報告を行い、復命書は「職員研修ファイル」に綴じ、いつでも閲覧できるようにしている。</p>

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体 （調査確認事項全 80 事項） を通してのサービスの達成状況	94%
---	------------

大項目 1 の内容 (概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園></p> <p>①乳児、分園、幼児の各ブロックの話し合いや、職員会議で一人ひとりの子どもに対し、職員間で共通理解し、一人ひとりに応じた援助をしている。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている一本歯下駄、竹馬や分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。</p> <p>③家庭から離れた場で、基本的生活習慣の見直しをすると共に自立心を高めること、集団への適応能力をのばしながら交友関係を深めること等、園生活の楽しい思い出作りに卒園児を対象として泊まり保育を年二回実施している。又、社会勉強の一環として公共機関を利用して園外に出かけている(野毛山動物園、ソレイユの丘、こども科学館、久里浜緑地、観音崎公園等)。</p> <p><分園></p> <p>①乳児、分園、幼児の各ブロックの話し合いや、職員会議で一人ひとりの子どもに対し、職員間で共通理解し、一人ひとりに応じた援助をしている。</p> <p>②分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。</p> <p>③整った生活リズムのなかで、子どもの欲求を満たし、情緒の安定を図っている。</p>	<p><本園></p> <p>①職員間の共通理解については、ブロック会議を中心に、主任会議や職員会議で話し合いを行っていること、職員会議の議事録は職員に回覧し、確認印を押していることを、職員会議・打合せ報告書で確認した。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、一本歯下駄や竹馬などの遊具類にて、また実際の遊びの様子は、保育日誌や写真で内容を確認した。</p> <p>③泊まり保育は、卒園を控えた年長クラスを対象に年2回実施していること、園外の外出は、泊まり保育の中で電車を利用して横須賀博物館や三笠公園まで出掛けていることを、保育日誌や写真で確認した。</p> <p><分園></p> <p>①職員間の共通理解については、ブロック会議や職員全体会議で話し合いを行っていること、保育士は担当制としているが、すべての子どもを見るようにしていることを、分園職員会議議事録で確認した。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、遊具類や分園に整備された壁づたい、縄梯子にて、また実際の遊びの様子は、個別ケース記録や写真などで内容を確認した。</p> <p>③子どもの情緒の安定を図る取り組みについては、2歳児のみの家庭的な環境の中で、トイレトレーニングや歯磨き指導などをきめ細かく行っていることを、個別ケース記録や分園での子どもたちの様子観察で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを心がけるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 健常児と発達のゆるやかな子どもといっしょに保育することで、偏見をなくし、思いやりの気持ちや優しい心を養い、双方にプラスになるみんないっしょの保育を実践している。 ② 異年齢の関わりの中で、思いやりの気持ちを育てるようにしている(朝夕の遊びのなかで、合同保育を行い、関わりをもっている。又、年長児は他クラスの手伝いを積極的に行っている)。 ③ 家庭から離れた場で、基本的な生活習慣の見直しをすると共に自立心を高めること、集団への適応能力をのびしながら交友関係を深めること等、園生活の楽しい思い出作りに卒園児を対象として泊まり保育を年二回実施している。又、社会勉強の一環として公共機関を利用して園外に出かけている(野毛山動物園、ソレイユの丘、こども科学館、久里浜緑地、観音崎公園等)。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 異年齢の関わりの中で、思いやりの気持ちを育てるようにしている(土曜保育のなかで、合同保育を行い関わりを持っている。また、行事の際には本園の子ども達と多く関わられるようにしている)。 ② 子ども同士、友達の存在や、思いを認めた関わりができるようにしている。 	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① みんないっしょの保育の取り組みについては、保育室での子どもたちの様子観察や、児童記録や保育日誌で、子どもたちが一緒に保育されている状況を確認した。 ② 異年齢との関わりや合同保育については、分園の2歳児が本園にきたときの関わりなどを、保育日誌や写真で確認した。 ③ 泊まり保育での子どもたちの関わりについては、他児との触れ合いの様子を、保育日誌や写真で確認した。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 異年齢との関わりや合同保育については、土曜日の合同保育での1歳児との関わりを、保育日誌や写真などで確認した。 ② 子ども同士が他者を認める関わりについては、保育士が間に入って友だちの気持ちに気が付けるよう配慮していることを、個人ケース記録で確認した。訪問調査当日、保育室や園庭での子どもたちの様子観察においても、状況を確認した。
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 散歩や園外保育のなかで、地域の方々と接し、人と関わることの楽しさを味わうことが出来るようにしている。 ② 同法人内の生活介護事業所と交流を持っている。らっきょう漬けのらっきょう洗いの手伝いや、白菜漬けの体験、レクリエーション等で同じ時間、空間を利用者と共有することにより、思いやりや楽しさを感じられるようにしている。 ③ 年一回、特別養護老人ホームへの慰問を行い、合奏合唱や言葉遊びを披露し、利用者の方に楽しんでもらい、その喜びを感じられるようにしている。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 散歩などを通し、地域の方々と接し、人と関わることの楽しさを味わうことが出来るようにしている。 ② 物を大切にすることを育てている。 	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の方との関わりについては、散歩の途中で近所の方と言葉を交わしたりしていること、園が住宅地の中にあり、近隣の方と触れ合う機会が多いことを、保育日誌や写真で確認した。 ② 同法人の生活介護事業所との交流については、子どもたちが施設を訪問し、らっきょう漬けに使うらっきょうと一緒に洗っていることを、保育日誌や写真、児童記録で確認した。 ③ 特別養護老人ホームとの交流は、子どもたちが施設を訪れ、遊戯の発表などを行っていることを、保育日誌で確認した。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の方との関わりについては、近隣への散歩などの際、保育士が率先して挨拶をし、子どもたちがそれに続いて挨拶していることを、保育日誌で確認した。 ② 物を大切にすることを育てる取り組みについては、場面場面で保育士が子どもたちに疑問を投げかけて関わっていることを、保育日誌で確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ①乳児クラスでは、歌や手遊び、絵本の読み聞かせをするなかで、保育士の真似をしながらオウム返して言葉を発し、やりとりを楽しんでいる。また、子どもの要求を保育士が言葉で代弁し、やりとりを楽しんでいる。 ②子ども同士のやりとりを保育士が側で見守りながら、会話の楽しさを感じられるようにしている。 ③言葉のやりとりが楽しめるように、ごっこ遊びやコーナー遊びを取り入れ、保育士も子どものやりとりがスムーズに進められるように工夫している。</p> <p><分園> ①歌や手遊び、絵本の読み聞かせをするなかで、保育士の真似をしながらオウム返して言葉を発し、やりとりを楽しんでいる。また、子どもの要求を保育士が言葉で代弁し、やりとりを楽しんでいる。 ②子ども同士のやりとりを保育士が側で見守りながら、会話の楽しさを感じられるようにしている。 ③言葉のやりとりが楽しめるように、ごっこ遊びなどを取り入れ、保育士も子どものやりとりがスムーズに進められるように工夫している。</p>	<p><本園> ①言葉のやりとりの取り組みについては、乳児クラスでは保育士がお昼の食事場面で子どもたちの気持ちを代弁し、言葉のやりとりが増えるようにしていることを、保育日誌で確認した。 ②会話の楽しさを感じられる取り組みについては、誕生会で子どもたちがおしゃべりを楽しんでいる様子を、児童記録で確認した。 ③ごっこ遊びやコーナー遊びについては、保育室にコーナー遊びで使用する粘土などが用意されていることや、実際のコーナー遊びでの様子を、児童記録で確認した。</p> <p><分園> ①言葉のやりとりの取り組みについては、朝の集まりやおやつ時間に、歌を歌ったり、絵本を読み聞かせて、子どもたちが言葉のやりとりを楽しめるようにしていることを、保育日誌や保育室の様子観察で確認した。 ②会話の楽しさを感じられる取り組みについては、保育士が子どもの気持ちを代弁することで、会話の楽しさを感じられるようにしていることを、保育日誌で確認した。 ③ごっこ遊びについては、ままごと遊びで、子どもたちがお父さん、お母さん役になり、言葉のやりとりを楽しんでいることを、保育日誌で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ①毎朝行っている朝の集まりの中で、各クラス日替わりの日直当番がみんなの前に立ち、自己紹介を行うことにより、自分のことが相手に伝わる喜びを味わっている。 ②絵本、紙芝居の読み聞かせをすることにより、聞くことの楽しさや言葉の感覚が豊かになるようにしている。 ③家庭での出来事を皆の前で発表し、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜び、話すこと聞くことを楽しめる機会を設けている。</p> <p><分園> ①毎朝行っている朝の集まりの中で、日替わりの日直当番がみんなの前に立ち、自己紹介を行うことにより、自分のことが相手に伝わる喜びを味わっている。 ②絵本、紙芝居の読み聞かせをすることにより、聞くことの楽しさや言葉の感覚が豊かになるようにしている。</p>	<p><本園> ①日直当番については、各クラス、日直当番表で一日の当番を決め、皆の前で自己紹介をしたり、昼食時に号令を掛けていることを、保育日誌や訪問調査当日の子どもたちの様子観察で確認した。 ②絵本、紙芝居の読み聞かせの取り組みについては、保育室にいつでも使えるように紙芝居などが用意されていることや、保育日誌や写真で内容を確認した。 ③家庭での出来事の発表は、朝の集まりの後の生活発表の場面で、子どもたちが家庭での週末の様子を発表していることを、児童記録で確認した。</p> <p><分園> ①日直当番については、2歳児から行っていること、日直当番は襷を掛け、朝の集まりやおやつ時間の挨拶を、保育士と一緒にいることを、個別ケース記録や訪問調査当日の当番の子ども様子観察で確認した。 ②絵本、紙芝居の読み聞かせの取り組みについては、おやつ時間や帰りの時間に行っていることを、保育日誌で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 幼児クラスでは、朝の集まりの前に季節や年齢に応じた選曲により、歌唱指導を行い、歌うことに日頃から親しんでいる。 ② 遊びのなかで、ピアノの音や音楽に合わせて体を楽しく動かせるようにしている。 ③ 各年齢でリズム遊びを楽しみ、年中児年長児には和太鼓、ピアノにつなげている。 ④ 幼児クラスでは、毎週木曜日に図工教室が行われている。講師は本園卒園児でもあり、多摩美術大学卒業で数多くの個展も開催している先生にお願いし、各学年に合わせた色の塗り方、絵の具の使い方、はさみ、のりなどの使い方を指導していただいている。また、クラス全員で行われる共同製作では大きな紙(模造紙6枚を各クラスの人数に応じて使用)にみんなで思い思いの絵を描き、力強い作品を作り上げている。また、講師は各クラスでの昼食を共にすることも大事にくださり、子ども達との細かい関わりを持って指導していただいている。図工教室を行うことで、集中力や自分の思いを力いっぱい描く力を養っている。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 季節や年齢に応じた選曲により、歌唱指導を行い、歌うことに日頃から親しんでいる。 ② 遊びのなかで、ピアノの音や音楽に合わせて体を楽しく動かせるようにしている。 	<p><本園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歌唱指導については、朝の集まりの前に幼児クラスでは全クラスで歌の練習を行っていることを、保育日誌で確認した。 ② 体を楽しく動かす取り組みについては、ピアノや和太鼓、ピアノがいつでも使えるように用意されていることを、保育室の様子観察で確認した。 ③ リズム遊びについては、今年度初めてのリズム遊びを楽しんでいる様子を、保育日誌と写真で確認した。 ④ 図工教室については、遠足でマリパークに行った時のことを思い出し、大きな紙にマリパークの絵を描いている様子を、保育日誌と写真で確認した。また、訪問調査当日、講師が来園し、図工教室を実施していること、子どもたちが集中して取り組んでいることを、保育室の様子観察で確認した。 <p><分園></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歌唱指導については、その季節の歌を保育士が何度も歌って、子どもたちが後からついて歌って歌詞を覚えていること、現在は誕生日会で歌う「キラキラ星」を朝の会、帰りの会で歌っていることを、保育日誌で確認した。 ② 体を楽しく動かす取り組みについては、日中活動や雨の日など1日に1回は、CD や DVD に合わせて体を動かすようにしていることを、保育日誌や保育室に用意された CD プレーヤーなどで、内容を確認した。

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ①運動会の各クラスの遊戯の発表や年長児の組体操、卒園式でのキッズソーラン、和太鼓演奏の練習を通して、みんなで一緒に表現する喜び、頑張る力を養えるようにしている。 ②遊びのなかで、ピアノの音や音楽に合わせて体を楽しく動かせるようにしている。 ③幼児クラスでは、毎週木曜日に図工教室が行われている。講師は本園卒園児でもあり、多摩美術大学卒業で数多くの個展も開催している先生にお願いし、各学年に合わせた色の塗り方、絵の具の使い方、はさみ、のりなどの使い方を指導していただいている。また、クラス全員で行われる共同製作では大きな紙(模造紙6枚を各クラスの人数に応じて使用)にみんなで思い思いの絵を描き、力強い作品を作り上げている。また、講師は各クラスでの昼食を共にすることも大事にしてくださり、子ども達との細かい関わりを持って指導していただいている。図工教室を行うことで、集中力や自分の思いを力いっぱい描く力を養っている。</p> <p><分園> ①運動会の遊戯の発表では、練習を通して一緒に表現する楽しさを味わっている。 ②遊びのなかで、ピアノの音や音楽に合わせて体を楽しく動かせるようにしている。 ③子どもたちの興味関心にあわせた様々な遊びを提供し、十分楽しめるようにしている。</p>	<p><本園> ①表現する喜びへの取り組みについては、運動会で組体操を、卒園式でキッズソーランを発表していることを、保育日誌や写真で確認した。 ②体を楽しく動かす取り組みについては、年度初めてのリズム遊びを楽しんでいる様子を、保育日誌で確認した。 ③図工教室については、図工教室が始まる前に、保育士が子どもたちが創造的に表現できるよう話をしている様子を、保育日誌で確認した。</p> <p><分園> ①表現する喜びへの取り組みについては、運動会の練習時に保育士が子どもたちの緊張感を和らげていることや、運動会当日に全員が踊ることができたことを、保育日誌や写真で確認した。 ②体を楽しく動かす取り組みについては、子どもたちの様子を見ながら、保育士が音楽をかけていること、子どもたちが音楽に合わせて手などを動かしていることを、保育日誌や園庭での子どもたちの様子観察で確認した。 ③様々な遊びの提供については、できるだけ子どもたちの要望を聞いて実施していることを、保育日誌や遊具類で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ① 幼児クラスは毎週一回、本園の専任保育士によるマット、跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボール、平均台等、年齢に応じた指導を受け、身体を動かす楽しさを味わっている(体育教室)。 ② 散歩や園外保育に行くことにより、季節の移り変わりや、身近な動植物への興味関心を引き出している。 ③ 遊びのなかに取り入れている一本歯下駄、竹馬や分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。</p> <p><分園> ① 分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。 ② 年齢に応じた絵本、紙芝居やエプロンシアターを提供し、身近な物への興味を引き出すようにしている。 ③ 不定期ではあるが、本園体育教室専任保育士によるマット、跳び箱、ボール、鉄棒等、年齢に応じた指導を受け、身体を動かす楽しさを味わっている。</p>	<p><本園> ① 体育教室は、専任の保育士が1名配置され、週1回定期的実施していることを、業務分担表や保育日誌、写真、運動遊具などで確認した。 ② 散歩や園外保育については、保育園の隣りに公園があり、訪問調査当日も、子どもたちが出掛けていることを確認した。また、園庭ではトマトやナスなどの季節の野菜を栽培し、メダカを飼育し、動植物への興味を引き出す取り組みを行っていることを、保育日誌や写真、園庭の様子観察で確認した。 ③ 遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、分園に行き忍者ごっこをしている様子を、保育日誌や写真で確認した。</p> <p><分園> ① 遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、子どもたちの希望を聞いて段階的に行っていることを、保育日誌やホームページ、写真で、内容を確認した。 ② 紙芝居や絵本の読み聞かせ、エプロンシアターについては、絵本の読み聞かせを毎日、行っていること、エプロンシアターは本園の誕生会などで行っていることを、保育室の様子観察で確認した。 ③ 体育教室の取り組みについては、鉄棒やマット遊びの指導を受けていることを、保育日誌や写真で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ① 季節の野菜の苗や、花の種を植え、栽培することにより、興味関心がもてるようにしている。 ② メダカや金魚等を観察することで、小動物に興味関心がもてるようにしている。 ③ 散歩や園外保育に行くことにより、季節の移り変わりや、身近な動植物への興味関心を引き出している。</p> <p><分園> ① 本園にてメダカや金魚等を観察することで、小動物に興味関心がもてるようにしている。 ② 散歩に行くことにより、季節の移り変わりや、身近な動植物への興味関心を引き出している。</p>	<p><本園> ① 植物の栽培については、季節の野菜を園庭で栽培していることを、保育日誌や児童記録、園庭の様子観察で確認した。 ② 小動物の飼育については、園庭でメダカの稚魚と成魚を分けて飼育し、子どもたちが興味、関心を示していることを、保育日誌や園庭の様子観察で確認した。 ③ 散歩や園外保育については、隣の公園によく出掛け、チョウチョウやバッタ、草花などを観察していることを、保育日誌や写真で確認した。</p> <p><分園> ① 小動物の飼育については、本園でメダカや金魚を飼育しており、本園に出掛けた時に子どもたちが興味を示している様子を、保育日誌で確認した。 ② 散歩や園外保育については、散歩の途中で保育士が珍しい昆虫や植物を子どもたちに知らせていることを、保育日誌で確認した。また、散歩に出掛ける公園を、「お遊び公園の地図」としてまとめていることを確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ①冬にはブロッコリー・カリフラワー・キャベツなどの冬野菜、夏にはトマト・きゅうり・ピーマン・ナスなどの夏野菜を栽培し、できた野菜は給食に取り入れている。子どもたちが水をあげ育てることで、育つ過程、食べ物のありがたさなどを知る体験となっている。 ②幼児クラス(3～5歳児)は月1回弁当日という日を設け、ランチ皿ではなく弁当箱に詰めて提供している。家庭からは水筒とレジャーシートを持参してもらい、近くの公園や屋上など各クラス各々の場所でもとは違った雰囲気を楽しんでいる。 ③食文化を大切にし、行事に合わせて子どもの喜ぶメニューを作っている。 ④子どもがトイレに興味をもつような環境を整え、排泄をしようとする意欲を育てている。</p> <p><分園> ①食文化を大切にし、行事に合わせて子どもの喜ぶメニューを作っている。 ②子どもがトイレに興味をもつような環境を整え、排泄をしようとする意欲を育てている。</p>	<p><本園> ①食への取り組みについては、冬野菜や夏野菜を園庭で栽培し、できた野菜をカレーなどに入れ、苦手な食材も子どもたちが喜んで摂取していることを、保育日誌や給食だより、写真で確認した。 ②弁当日の取り組みについては、月1回、最終の金曜日に実施していること、屋上などで子どもたちがのんびりと弁当日を楽しんでいることを、保育日誌や写真で確認した。 ③行事食の取り組みについては、七夕やハロウィン、夏祭りに合わせ行事食を提供していることを、給食だよりや保育日誌で確認した。 ④トイレに興味を持つような取り組みについては、トイレにアンパンマンや手裏剣の絵を付け、子どもたちが興味を示すようにしていることを、保育日誌やトイレの様子観察で確認した。</p> <p><分園> ①行事食の取り組みについては、行事食に栽培した野菜を取り入れたり、クラス名の「なめこ、らっきょう、うめぼし、むぎめし」を給食に取り入れたり、手作りおやつを提供していることを、保育日誌や写真、献立表綴りで確認した。 ②トイレに興味を持つような取り組みについては、アンパンマンなどの絵を貼って、子どもたちが興味を示すようにしていることを、保育日誌やトイレの様子観察で確認した。</p>
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p><本園> ①毎月1回「働く日」を設け、保育室のロッカー、床、下駄箱等の掃除をし、仕事の責任と働く喜びの習慣化を図っている。 ②全クラス食後、休息をとるために睡眠時間を設け、休息の大切さを理解出来るようにしている。 ③生活習慣が身につけられるように、家庭との連携を密にとっている。</p> <p><分園> ①食後、休息をとるために睡眠時間を設け、休息の大切さを理解出来るようにしている。 ②生活習慣が身につけられるように、家庭との連携を密にとっている。</p>	<p><本園> ①働く日の取り組みについては、ロッカーや下駄箱などの掃除を行っていることを、保育日誌や保育室の様子観察で確認した。 ②午睡については、全クラス食後に睡眠時間を設けていることを、保育日誌や保育室の様子観察で確認した。 ③生活習慣が身につけられるような取り組みについては、給食や歯磨き、睡眠、トイレなど様々な場面で対応していることを、保育日誌や連絡帳、保育室の様子観察で確認した。</p> <p><分園> ①午睡については、保育士が声掛けし、子どもたちが自分で着替え布団に入っている様子を、保育日誌や連絡帳、保育室の様子観察で確認した。 ②生活習慣が身につけられるような取り組みについては、子どもたちが自分のことは自分でできるようにしていること、家庭との連絡を密に行っていることを、連絡帳や訪問調査当日の子どもたちの様子観察で確認した。</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p><本園></p> <p>①健常児と発達の違いのゆるやかな子どもといっしょに保育することで、偏見をなくし、思いやりの気持ちや優しい心を養い、双方にプラスになるみんないっしょの保育を実践している。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている一本歯下駄、竹馬や分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。</p> <p>③幼児期の心身の健康づくりのため天突き体操、ラジオ体操、歩け歩けの運動を毎日朝の集まりのなかで行い、天気良ければ自然を求めて園外保育を実施している。</p> <p>④伝承遊び、コマ、縄跳び、お手玉、あやとり、竹とんぼ等、古くから伝えられている遊びに取り組んで、豊かな情緒を育み、指先の感覚を養っている。</p> <p><分園></p> <p>①健常児と発達の違いのゆるやかな子どもといっしょに保育することで、偏見をなくし、思いやりの気持ちや優しい心を養い、双方にプラスになるみんないっしょの保育を実践している。</p> <p>②分園に整備された壁づたいや縄梯子等の遊具で忍者遊びをすることにより、運動神経や平衡感覚、及び自立の精神の発達を促している。</p> <p>③天突き体操、ラジオ体操、歩け歩けの運動を毎日朝の集まりのなかで行い、天気良ければ自然を求めて園外保育を実施している。</p>	<p><本園></p> <p>①みんないっしょの保育の取り組みについては、健常児と様々な発達段階の子どもがいつも一緒に過ごしていること、子ども同士が声掛けをしていることを、児童記録や保育日誌、保育室の様子観察で確認した。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、一本歯下駄や竹馬などが準備されていること、分園に行き忍者ごっこをしていることを、保育日誌や写真、遊具の内容で確認した。</p> <p>③心身の健康づくりのための体操は、全てを毎日、この順番で行っていることを、保育日誌や写真などで確認した。園外保育については、「お遊び公園の地図」があることを確認した。</p> <p>④古くから伝えられている遊びについては、カルタや粘土遊びを行っていることを、保育日誌で確認した。</p> <p><分園></p> <p>①みんないっしょの保育の取り組みについては、保育士が目配りし、子ども同士が自然に関われるようしていることを、保育日誌や個人ケース記録で確認した。</p> <p>②遊びのなかに取り入れている忍者遊具などは、分園の園庭の様子や忍者遊具で、内容を確認した。</p> <p>③心身の健康づくりのための体操は、朝の集まりで必ず行っていることを、保育室の様子観察で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p><本園></p> <p>①健常児と発達ゆるやかな子どもといっしょに保育することで、偏見をなくし、思いやりの気持ちや優しい心を養い、双方にプラスになるみんないっしょの保育を実践している。</p> <p>②乳児保育～ひとりひとりの月齢や発達にそった家庭的な保育につとめている。季節にそった歌を歌ったり、絵本のよみかせ、手遊びを積極的に取り入れている。</p> <p>③延長保育～異年齢の関わりを大切にしながら、少人数でのんびりと過ごせる延長保育を実施している。また、延長保育中におやつを提供を行っている。</p> <p><分園></p> <p>①健常児と発達ゆるやかな子どもといっしょに保育することで、偏見をなくし、思いやりの気持ちや優しい心を養い、双方にプラスになるみんないっしょの保育を実践している。</p> <p>②延長保育～少人数でのんびりと過ごせる延長保育を実施している。また、延長保育中におやつを提供を行っている。</p>	<p><本園></p> <p>①みんないっしょの保育の取り組みについては、健常児と様々な発達段階の子どもが一緒にすごしていること、クラス担当が家庭との面談を行っていることを、児童記録や保育室の様子観察で確認した。</p> <p>②乳児保育については、乳児室には調理室が併設されていること、絵本の読み聞かせを行っていることを、児童記録や乳児室の様子観察で確認した。</p> <p>③延長保育については、異年齢の子どもを少数で保育していること、クッキーなどをおやつとして提供していることを、登降園時間記録表や延長保育記録で確認した。</p> <p><分園></p> <p>①みんないっしょの保育の取り組みについては、保育士が声掛けをして、子どもを誘っている様子を、個人ケース記録で確認した。</p> <p>②延長保育については、対象の子どもが1～2名で保育士1名が広々とした保育室で関わっていること、おやつを提供も行っていることを、登降園時間記録表や保育室の様子観察で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p><本園> ①アレルギー食対応～アレルギー疾患をもつ園児に対しては、医師の指示書を提出して頂き、それに基づいて一人一人に合わせた除去食を提供している。また、配膳する際にはアレルゲンが入っていないことを調理員と保育士が確認し合い、普通食と区別する為にトレーにのせている。 ②個別食～体調不良の園児にはおかゆなどを提供する。咀嚼がうまくおこなえない園児には食材を食べやすい大きさにしたり、柔らかくするなどの個別食を提供している。 ③離乳食～乳児の発達に合わせた食材や調理形態で離乳食を作り、段階を追って進めている。</p> <p><分園> ①アレルギー食対応～アレルギー疾患をもつ園児に対しては、医師の指示書を提出して頂き、それに基づいて一人一人に合わせた除去食を提供している。また、配膳する際にはアレルゲンが入っていないことを調理員と保育士が確認し合い、普通食と区別する為にトレーにのせている。 ②個別食～体調不良の園児にはおかゆなどを提供する。咀嚼がうまくおこなえない園児には食材を食べやすい大きさにしたり、柔らかくするなどの個別食を提供している。</p>	<p><本園> ①アレルギー食の対応については、年度初めに保護者に確認し、医師の指示書に基づき行っていることを、調理手順書や献立表、訪問調査当日の昼食の様子観察で内容を確認した。 ②個別食の取り組みについては、体調不良児におかゆを提供したり、咀嚼がうまく行えない子どもにペースト食やトロミ食を提供したりしていることを、保育日誌や児童記録で確認した。 ③離乳食については、発達に合わせた離乳食を提供していること、家族と連携を取って段階をおって提供していることを、児童記録や離乳食・食事形態表で確認した。</p> <p><分園> ①アレルギー食の対応については、トレーに掛けたラップに名前を書き、他のこどもと区別していること、食事は少し離れたテーブルで摂っていること、配膳時に、調理員⇒園長⇒保育士で内容を確認していることを、除去食献立表や個人ケース記録、訪問調査当日の保育室の様子観察などで確認した。 ②個別食の取り組みについては、体調不良児に配慮した食事を提供していること、特別な配慮が必要な子どもは常に保育士が目配りしていることを、個人ケース記録や保育日誌などで確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p><本園></p> <p>①冬にはブロッコリー・カリフラワー・キャベツなどの冬野菜、夏にはトマト・きゅうり・ピーマン・ナスなどの夏野菜を栽培し、できた野菜は給食に取り入れている。子どもたちが水をあげ育てることで、育つ過程、食べ物のありがたさなどを知る体験となっている。</p> <p>②クラスの名前にもなっている「なめこ・らっきょう・うめぼし・むぎめし」を給食に取り入れ、食材の幅を広げている。</p> <p>③幼児クラス(3～5歳児)は月1回弁当日という日を設け、ランチ皿ではなく弁当箱に詰めて提供している。家庭からは水筒とレジャーシートを持参してもらい、近くの公園や屋上など各クラス各々の場所でもとは違った雰囲気を楽しんでいる。</p> <p>④食文化を大切にし、行事に合わせて子どもの喜ぶメニューを作っている。</p> <p>⑤給食だよりを毎月掲示及びホームページに掲載している。家庭で参考になるよう心がけ作成している。</p> <p><分園></p> <p>①クラスの名前にもなっている「なめこ・らっきょう・うめぼし・むぎめし」を給食に取り入れ、食材の幅を広げている。</p> <p>②食文化を大切にし、行事に合わせて子どもの喜ぶメニューを作っている。</p> <p>③給食だよりを毎月掲示及びホームページに掲載している。家庭で参考になるよう心がけ作成している。</p>	<p>第三者評価での確認点</p> <p><本園></p> <p>①野菜の栽培は、冬野菜や夏野菜を園庭で栽培し、食材として給食に取り入れ、子どもたちが喜んで食べていることを、保育日誌や給食だより、園庭での野菜の栽培の様子観察で確認した。</p> <p>②クラス名になっている「むぎめし」は、毎日、給食で提供していること、なめこやらっきょう、うめぼしも給食に提供していることを、献立表で確認した。</p> <p>③弁当日の取り組みについては、シートと水筒を家から持参し、屋上など外で食べていることを、保育日誌や給食日誌、写真で確認した。</p> <p>④行事食は、七夕やハロウィン、夏祭りなどに提供していることを、保育日誌で確認した。</p> <p>⑤給食だよりは、ホームページでも掲載していること、毎月掲載していることを、ホームページの内容や園内の掲示で確認した。</p> <p><分園></p> <p>①クラス名になっている食材の提供については、クラス名の物を積極的に摂っている子どもたちの様子を、保育日誌で確認した。</p> <p>②行事食は、七夕や夏祭り、クリスマスなどに提供していることを、献立表綴りなどで確認した。</p> <p>③給食だよりには、行事の由来や健康に過ごすためのワンポイントなどを掲載していることを、給食だよりや保育室内の掲示で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>家庭とのコミュニケーションに関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p><本園></p> <ul style="list-style-type: none"> ①連絡帳を利用し、家庭と園で情報交換を行っている。 ②ホワイトボードやクラスだよりを通して、日々の子どもの様子を伝えている。 ③懇談会は年2回実施し、保護者同士や園と家庭とのコミュニケーションの場としている。また、必要に応じて担任と個人面談を行っている。 <p><分園></p> <ul style="list-style-type: none"> ①連絡帳を利用し、家庭と園で情報交換を行っている。 ②ホワイトボードやクラスだよりを通して、日々の子どもの様子を伝えている。 ③懇談会は年2回実施し、保護者同士や園と家庭とのコミュニケーションの場としている。また、必要に応じて担任と個人面談を行っている。 	<p><本園></p> <ul style="list-style-type: none"> ①連絡帳は、乳児クラスは「連絡帳」を、幼児クラスは「シール帳」を使用していることを、実際の連絡帳などで確認した。 ②日々子どもたちの様子は、各クラスのホワイトボードやクラスだよりで伝えていることを、クラスだよりやホワイトボードの内容で確認した。 ③懇談会開催は、回数を増やし、また、個人面談は随時行っていることを、懇談会のお知らせや懇談会記録などで確認した。 <p><分園></p> <ul style="list-style-type: none"> ①連絡帳は、家庭との日々の情報交換に使用していることを、実際の連絡帳で確認した。 ②日々子どもたちの様子は、ホワイトボードに記載し、ボードには感染症情報なども載せていることを、ホワイトボードの内容で確認した。 ③懇談会の開催は、回数を増やし、また、個人面談は随時行っていることを、懇談会のお知らせなどで確認した。